

## 2. 中里貯水池の主な写真

中里ダムはわが国のアースダムでは、堤高第7位、総貯水量第6位、堤体積(2,970千m<sup>3</sup>)は第1位と最大級。まさに三重用水の水がめの役割を果たしています。



①水源管理所（右岸）からの中里ダム貯水池とダム堤体の上流面です。

満水位は標高192m。

堤頂長は985mもありますので、全景を写すのはむずかしいです。

背後は養老山地です。



②同じく、水源管理所からの中里貯水池とダム堤体の上流面です。写真左には取水塔があります。この取水塔から、取水した水が幹線水路を南下して員弁幹線水路、宮川調整池、菰野調整池、そして加佐登調整池に導水されます。

写真は秋・紅葉の季節です、四季折々の北勢の風景を見せてくれます。



③取水塔です。水面に浮かんでいるのは網場（あば）と呼ばれる、流木などがはいるのを防いでいます。



④ダムの左岸側からの写真です。  
後方は、鈴鹿山地、写真左端が藤原  
原岳、中央部が御池岳、その左が鈴  
ヶ岳です。山向こうは滋賀県永源寺  
や彦根市多賀町になります。



⑤取水塔からの水源管理所です。



⑥中里ダムは、員弁川上流部の砂子  
沢川と大平川の2つの川を締め切っ  
て建設されています。

写真は左岸側の砂子沢堤で、写真  
奥は大平堤になります。写真左端は  
石灰岩が採掘されている藤原岳です。



⑦右岸側の  
大平堤の堤体下流面の  
堤趾（下流端）です。

堤高は46.0m

近くからは大きすぎて、一枚の写真  
にはうまくはいりません。

堤趾部は岩石が盛り立てられています。



⑧大平堤の中央部には管理用の通路が設けられています。



⑨洪水吐きの越流部  
満水位以上のとき洪水を安全に下流に流す施設です。  
対象流量は 144m<sup>3</sup>/s。



⑩洪水吐きの導流部  
写真⑨からの水を下流に流す水路です



⑪洪水吐きのシュート部と減勢工  
写真⑩からの水を下流の河川に水の勢いを減らして放流します。